

b) 社会人として活躍していくためには

Title : What I can do now

ついこの間中学に入学したはずだった私も今や 18 歳。大学選びをする上でも、将来のキャリアを真剣に考えなくてはならない年頃になった。未だ将来の夢が明確に定まらない自分への大きな不安は残るが、私は社会人として働くことを大いに楽しみにし、憧れを抱いている。しかしそんな曖昧な将来に対してどうして私はこれ程までも期待をしているのだろうか。私はこの理由が、高校生活における経験によって得た喜びや自信によってもたらされていることに気が付いた。

昨年度私は、美術部の部長に立候補し 47 人の部員を先導することとなった。学年間の交わりが乏しく、週に一度、仲の良い友達と少し絵を描くだけ、という今までの部活動に不満を持っていた私は、美術部の部長として 4 つの大きな改革の目標を定め、その公約を全て果たした。1 つ目は交流会を初めて開き部員の絆を深めてから作業を始めること。2 つ目は文化祭における絵画の展示の規模を拡大すること。3 つ目は、文化祭で美術部史上初の手作り品の販売を行い、売上げを養護施設へ寄付すること。そして最後は、文化祭後にクラブでのボランティアを積極的に行うこと。これらの取り組みを同時に行うことにより、部員の仲は深まり、活動内容も大いに充実させることができた。引退のときには後輩から“今年の美術部はすごく楽しかった”と声をかけてもらえ、私は大きな達成感と喜びを感じると同時に、何に対してかはわからない次への大きなやる気が漲ってきた。

この経験から私は、今後社会人として活躍するために、行動力とコミュニケーション力という 2 つの力をより高めていきたいと感じた。最初は失敗を恐れずに常に前に踏み出し、積極的に何かに取り組もうとする行動力。人に言われたことだけ機械的にするのではなく、自分の本当にやりたいことを自分からやる。私が行った美術部の改革、また新しい仕事を効率よく進めるにあたって重要なことだと気が付いたからだ。次にコミュニケーション力。人とのコミュニケーションを上手くとることにより、良いチームワークを形成でき、仕事仲間やとの合意形成が円滑に行える。私は部員とのコミュニケーションを積極的に取ることによって、47 人の仲間と共に大きなプロジェクトを成功に導けたのだ。

部活を引退し大学受験に励む今日の私。今の自分にできることは、受験勉強によって基礎学力を固めることはもちろんだが、勉強以外にも時間を見つけてできることはいくらかもある。ボランティア活動に参加するという行動力。そこで新しい友達を見つけるコミュニケーション力。電車の中でお年寄りに席を譲る、悩んでいる友達の相談に積極的にのる、そんな日常の小さな行動だって同じ役割を果たすだろう。生活の目立たないところにも様々なチャンスは転がっているはずだ。

行動力やコミュニケーション力を高めることは決して難しいことではない。私は日々の生活、一日一日を大切にすることによって、どんな小さなチャンスも見逃さないようにしたい。自分から積極的に人のために行動をとることは、人の役に立つだけでなく、自分の力を高め、将来社会で活躍する自分の土台形成にもなる。私は今の自分にできることに積極的に取り組み、多くの人と関わり合いながら、希望に満ちた“社会人として働く将来の自分”の姿に向かって一步一步、近付いていきたい。